**臨終の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．はじめのことば**

主の平安がありますように。

（アーメン）

**２．詩編唱**　＊司式者は次の詩編を唱えてもよい。または交読するか、会衆が復唱することもできる。

主よ、わたしの心は驕っていません。わたしの目は高くを見ていません。

大きすぎることを、わたしの及ばぬ驚くべきことを、追い求めません。

わたしは魂を沈黙させます。

わたしの魂を幼な子のように、母の胸にいる幼な子のようにします。（詩編１３１より）

父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン

または

わたしの魂は沈黙して、ただ神に向かう。

神にわたしの救いはある。

主こそ、わたしの岩、わたしの救い、堅固な砦。

わたしは決して動揺しない。

わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。

神にのみ、わたしは希望をおいている。

主こそ、わたしの岩、わたしの救い、堅固な砦。

わたしは決して動揺しない。

わたしの救いと栄えは神にかかっている。

力と頼み、避けどころとする岩は神のもとにある。（詩編６２より）

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**３．聖書**

（十字架につけられていた一人は言った。）「イエスよ、あなたが御国においでになるときには、わたしを思い出してください」。するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。（ルカ２３章４２～４３節）

または

（イエスは言われた。）「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」（ヨハネ１１章２５）

**４．祈り**

（逝去前の場合、以下の祈りを用いる。逝去後の場合は、別記の祈りを用いる。）

慈しみ深い神様。私たちの愛する　　　　　　　が、今、御許に召されようとしています。この神の家族（兄弟・姉妹）を御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって　　　　　　　を覆い、罪を赦された者として、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（幼子の場合）

全能の神様。私たちの愛する　　　　　　が、今、御許に召されようとしています。この幼子を御手に委ねます。幼子を愛する主よ、あなたの御腕にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（不慮の事故の場合）

憐れみ深い神様。不慮の事故により、私たちの愛する　　　　　　　が、今、御許に召されようとしています。この神の家族（兄弟／姉妹）を御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって　　　　　　　を覆い、あなたの平安と慰めで満たし、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（洗礼を受ける機会を得ることがなかった場合）

いのちの造り主である神様。あなたの憐れみは限りなく、その慈しみはすべての人に注がれます。今、この世の旅路を終えようとしている　　　　　　　を御手に委ねます。あなたの慰めと愛の力から来る平安を私たちに与えてください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

＊逝去後に、この式文を使って臨終の祈りを行う場合は、以下の祈りから選んで用いる。

慈しみ深い神様。御許に召された、愛する　　　　　　　をあなたの御手に委ねます。主イエス・キリストの義の衣をもって神の家族（兄弟／姉妹）を覆い、罪を赦された者として、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（幼子の場合）

全能の神様。御許に召された、私たちの愛する　　　　　　をあなたの御手に委ねます。幼子を愛する主よ、あなたの御腕にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（不慮の事故の場合）

憐れみ深い神様。不慮の事故により御許に召された、愛する　　　　　　　を、あなたの御手に委ねます。主イエス・キリストの義をもって神の家族・兄弟／姉妹を覆い、あなたの平安と慰めで満たし、御許にお迎えください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

（洗礼を受ける機会を得ることがなかった場合）

いのちの造り主である神様。あなたの憐れみは限りなく、その慈しみはすべての人に注がれます。この世の旅路を終えた　　　　　　　を御手に委ねます。あなたの慰めと愛の力から来る平安を私たちに与えてください。救い主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

**５．主の祈り**　＊ここで一同で主の祈りを祈ってもよい。

**６．結びのことば**　＊司式者は臨終の者の頭に手を置いて言う。

「今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである」

アーメン

　または

主イエスは言われた。「あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」

アーメン

**納棺の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**

**２．詩編唱**　＊司式者は次の詩編を唱え、または会衆と交読する

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

命ある限り、主の家に宿り、

主を仰ぎ望んで喜びを得、

その宮で、朝を迎えることを。（詩編２７編より）

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

または

憐れんでください。神よ、憐れんでください。

わたしの魂はあなたを避けどころとし、災いの過ぎ去るまであなたの翼の陰を避けどころとします。

いと高き神を呼びます。わたしのために何事も成し遂げてくださる神を。

天から遣わしてください、神よ、遣わしてください、慈しみとまこととを。

わたしを踏みにじる者の嘲りから

わたしを救ってください。

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**３．祈り**

全能の神様。わたしたちは今、愛する者の亡きがらをひつぎに納めるため、ここに集まっています。

→A　あなたの計りがたい慈しみによって、愛する者は、洗礼の約束によって、あなたの御許に迎えられました。

または

→B　あなたの計りがたい慈しみによって、愛する者は、この世に生を与えられ、わたしたちのうちにあり、あなたに支えられて共に生きてきました。

（上のABいずれかに続き）今、地上の歩みを終えた神の家族（兄弟／姉妹）・幼子　　　　　　　　　と別れるにあたり、これまでにお与えくださった恵みの数々を思い、感謝いたします。御許において再び顔と顔を合わせる日の来る希望を与えてください。悲しみの中にある私たちを、御言葉をもって励まし、これよりおこなわれるすべてのことを通して、主の栄光が現れますように。いのちの主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

＊ここで納棺をしてもよい。あるいは地域の慣習に基づいて行う。

**納棺後の祈り**　＊納棺した後に以下の祈りをする。

主なる神様。あなたの愛の御手に委ね、今、愛する　　　　　　　　を納棺いたしました。これから行われるすべての式をあなたの慰めと平安で満たしてください。主イエス・キリストによって。

アーメン

**４．祝福**

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがた一同と共にあるように。

アーメン

**葬送前夜式**

**（通夜の祈り）**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

＊式は、自宅・教会・その他で行う。

＊式の中で、あるいはその後で、逝去者を偲び、友人・関係者・遺族による思い出が語られてもよい。

**１．賛美歌**　＊歌っても唱和してもよい

**２．詩編唱**　＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの光、わたしの救い。わたしは誰を恐れよう。

主はわたしの命の砦。わたしは誰を恐れよう。

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

命ある限り、主の家に宿り、主を仰ぎ望んで喜びを得、その宮で、朝を迎えることを。

災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ、幕屋の奥深くに隠してくださる。

岩の上に立たせ、群がる敵の上に頭を高く上げさせてくださる。

わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、

歓声をあげ、主に向かって讃美の歌をうたう。

主よ、叫び求めるわたしの声を聞き、

憐れんで、わたしに答えてください。

主よ、み顔を隠すことなく、怒ることなく、あなたの僕を退けないでください。

あなたはわたしの助け。(詩編２７編より)

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

または

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは主から来る。

天地を造られた主のもとから来る。

主があなたを助けて、足をよろめかないようにし、

まどろむことなく見守ってくださる。

見よ、主の民を見守る方は、

まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方、

あなたを覆う陰、あなたの右にいます方

昼、太陽はあなたを撃つことがなく、

夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて、

あなたを見守り、あなたの魂を見守ってくださる。

あなたの出で立つのも帰るのも、主が見守ってくださるように。

今も、そしてとこしえに。(詩編１２１編より)

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**３．特別の祈り**

司式：いつくしみと慰めの主、全能の神様。この世の旅路を終えた　　　　　　をあなたのみ手に委ねます。み子による恵みの約束のうちに、召された者を慈しみもって受け入れ、永遠の光によって照らしてください。はかり知ることのできないあなたの愛によって、悲しみのうちにある私たちに慰めと平安を与えてください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、死んで復活し永遠に生きて治められるみ子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**４．聖書**　＊次の聖書箇所、あるいは他の適切な個所を朗読する。

コリント（二）５章１～１０節・ヨハネ１１章２１～２７節・ヨハネ１４章１～６節

**５．説教**

**６．賛美歌**

**７．祈り**

司式：すべての生命と力の源である神様。愛する神の家族（兄弟／姉妹）・幼子　　　　　は、はかり知ることのできない恵みによって、あなたの救いに与る者とされました。信じる者の喜びに満たされて生き、与えられた人生の道のりを走り終えて、いま天にある聖なる人々の群れに加えられましたことを感謝いたします。召された者も、残された者も、常にあなたの交わりの中にあることを示し、なお地上にある私たちが、互いに慰め、励まし、神と共に生きる人生を歩むことができるように導いてください。十字架の死によって、死に打ち勝ち、今も生きて働いておられる、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

（洗礼を受ける機会を得られず逝去した場合）

司式：すべての生命と力の源である神様。あなたに与えられた地上の生涯を終えた　　　　　に、あなたが導き、私たちとの交わりを与えてくださったことを感謝します。あなたのはかり知ることのできない憐れみによって私たちを顧み、愛の御手に受け入れ、平安を与えてください。なお地上にある私たちが、互いに慰め、励まし、神と共に生きる人生を歩むことができるように導いてください。私たちの救い主、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**８．主の祈り**

**９．賛美歌**

**１０．祝　福**

司式：平安と慰めと愛が あなたがたにあるように、父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**葬送式**

**（葬儀礼拝）**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**

**２．御名による祝福**

父と子と聖霊のみ名によって。

アーメン

**３．詩編唱**　＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

深い淵から、主よ、あなたに叫びます。主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら、

主よ、誰が耐ええましょう。

しかし、主よ、赦しはあなたのもとにあり、

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき、

わたしの魂は望みをおき、み言葉を待ち望みます。（詩編１３０編より）

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

または

わたしは主を愛する。主は嘆き祈る声を聞き、

わたしに耳を傾けてくださる。生涯、わたしは主を呼ぼう。

死の綱がわたしにからみつき、陰府の恐怖にさらされ、苦しみと嘆きを前にして、

主のみ名をわたしは呼ぶ。「どうか主よ、わたしをお救いください。」

主は憐れみ深く、正義を行なわれる。わたしたちの神は情け深い。

哀れな人を守ってくださる主は、弱り果てたわたしを救ってくださる。

わたしの魂よ、再び安らうがよい、

主はお前に報いてくださる。

あなたはわたしの魂を死から、わたしの目を涙から、

わたしの足を突き落とそうとする者から、助け出してくださった。

命あるものの地にある限り、

わたしは主のみ前に歩み続けよう。

わたしは信じる。「激しい苦しみに襲われている」と言うときも、

不安がつのり、人は必ず欺くと思うときも。

主はわたしに報いてくださった。わたしはどのように答えようか。

救いの杯を上げて主のみ名を呼び、満願の献げ物を主にささげよう。主の民すべての見守る前で。

主の慈しみに生きる人の死は主の目に価高い。どうか主よ、わたしの縄目を解いてください。

わたしはあなたの僕。わたしはあなたの僕、母もあなたに仕える者。

あなたに感謝のいけにえをささげよう。主のみ名を呼び、主に満願の献げ物をささげよう。

主の民すべての見守る前で、主の家の庭で、エルサレムのただ中で。ハレルヤ。（詩編１１６より）

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**４．キリエ**

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：キリストよ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

**５．特別の祈り**

司式：命の源である神様。地上の旅を信仰を持って終えた　　　　は、洗礼の約束によって、復活の命を与えられました。今、私たちも、この信仰と希望によって、慰めと平安の内に生きることができるようにしてください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠の支配者、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

または

司式：全能・永遠の神様。すべての命はあなたの御手の中にあります。苦しみ、悩みの中で、あなたを呼び求める私たちの祈りに耳を傾けてください。地上の旅を終えて、その労苦から解かれた　　　　　と再び会う時まで、私たちが希望を持って生きることができるようにしてください。あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠の支配者、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**６．聖書朗読**（旧約聖書または使徒書、福音書）

　＊次の聖書箇所、あるいは他の適切な個所を朗読する。

　＊２箇所以上朗読する場合で、福音の前に旧約聖書または使徒書を朗読する場合は、福音の朗読の前に７に進む。

　ヨブ記１９章２５，２６節・イザヤ書２５章８，９節

　ローマ８章３１～３９節・コリント（一）１５章１２～２６節・コリント（一）１５章５０～５８節・

　テサロニケ（一）４章１３～１８節・ペトロ（一）１章３～９節・黙示録２１章３～７節・

　黙示録７章９～７節

　ルカ７章１１～１７節・ヨハネ５章２４～２９節・ヨハネ６章３７～４０節・ヨハネ１１章２１～２７節・

　ヨハネ１４章１～６節（小児）・マタイ９章１８～２６節（小児）・マルコ１０章１３～１６節（小児）

＊個人の愛唱聖句が朗読されてもよい

**７．賛美唱**　＊旧約聖書または使徒書を福音の前に朗読する際に、司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの羊飼い、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを緑の野に休ませ、

憩いの水のほとりに伴い、わたしの魂を生き返らせてくださる。

主はみ名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても、

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ、

わたしの杯を溢れさせてくださる。

命ある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り、いつまでも、そこにとどまる。(詩編２３編より)

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**（８．福音の朗読）**　＊６に加えて、ここで福音を朗読してもよい。朗読箇所は６を参照のこと。

**９．説教**

**１０．賛美歌または（聖餐を行わない場合）シメオンの賛歌**

**１１．祈り**

①　司式：生きている者と死んだ者の神様。天地のすべてのものはあなたによって創られました。私たちの生と死はあなたの御手のうちにあります。御子イエス・キリストは私たちの救いのために十字架につけられ、死んで復活し、私たちのために永遠のいのちをお与えくださいました。　天に召された者と共に、私たちも今地上にあって、あなたに讃美をささげることができるようにしてください。

②　司式：恵みの神さま　主にあって眠る者のために、嘆くことのないように、あなたは教えてくださいました。この世の生涯を終えたものを、憐れみによって、永遠の喜びに与からせてください。キリストのみ名によって。

③　司式：いつくしみ深い神様。悲しむ者を慰め、心に痛手の受けている者を癒してください。私たちが必要とするとき、その心を平安で満たしてください。キリストのみ名によって。

④　（幼子のために）

司式：幼子をみ手に抱き、祝福されたイエス様。幼くして天に召された　　　　が、あなたの愛のみ手のうちに、永遠のいのちを受けることができますように。この幼子を思う人々に慰めと平安をお与えください。

⑤　（洗礼を受ける機会がなく召された者のために）

司式：全能の憐れみ深い神様。人の生死はすべてみ手のうちにあります。あなたは、愛する　　　　を私たちに与え、私たちの交わりのうちにあなたのみ業を現してくださったことを感謝します。はかり知れないあなたの深い憐れみのうちに　　　　を受け入れ、主の愛のみ旨を全うしてくださるようにお願い致します。私たちの救い主、イエス・キリストのみ名によって。

（結びの祈り）

司式：独り子イエス・キリストを与えられた神様。み子は死の力を砕き、復活によってみ国の門を開いてくださいました。死もいのちも、現在のものも、将来のものも、主イエス・キリストにあるあなたの愛から、私たちを引き離すことができないことを信じ、あなたの愛にすべてを委ねます。あなたと聖霊と共に、ただひとりの神であり、永遠に生きて治められるみ子、主イエス・キリストによって祈ります。

（聖餐を行う場合は、聖餐の式文に進む。聖餐式の式文に続き、祝福は葬送式式文の１３を用いることもできる。）

**１２　主の祈り**

**１３　祝福**

司式：全能の神の慰めと祝福があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

または

司式：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン

または

司式：永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、み心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてくださり、み心を行なうために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように。

会衆：アーメン

**１４　賛美歌**

＃ここで葬送式を一応終わり、遺族挨拶、弔電・弔文披露を行ってもよい。

**（１５）　お別れのしるし**　＊ここで花を手向けてもよい

**（１６）　葬送と出棺**

**葬送のことば**

司式：私たちの主イエス・キリストにより、永遠のいのちに復活する確かな希望をもって、私たちは地上の生涯を終えた神の家族（兄弟／姉妹）　　　　　　　を全能の神に委ね、その体を土を土に、灰を灰に、塵を塵に返します。

主が　　　　　　　を祝福し、　　　　　　　を守ってくださいます。主がそのみ顔をもって　　　　　　　を照らし、　　　　　　　を憐れんでくださいます。主が慈しみをもって　　　　　　　を顧み、　　　　　　　に平安を賜ります。

会衆：アーメン

または

司式：憐れみ深く、恵みに富み、忍耐強く、慈しみ溢れる神に、私たちは神の家族（兄弟／姉妹）　　　　　　　を委ねます。死者の中から復活した主イエス・キリストが、私たちの体を栄光の姿に変えてくださることを信じます。

主は、　　　　　　　に永遠の平安を与え、終わりの日に復活させてくださいます。

会衆：アーメン

**出棺（葬送の行進）**

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。

すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巣を得るように、

万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。

あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。

彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。

また前の雨は池をもってそこを覆います。

彼らは力から力に進み、

シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、われらの盾を御覧になり、

あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。

わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。

主なる神は日です、盾です。神は恵みと誉れを与え、

直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

万軍の主よ、

あなたに信頼する人は、幸いです。（詩編８４編より）

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**火葬前の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**詩編**

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは来る。天地を造られた主のもとから。

どうか、主があなたを助けて、足がよろめかないようにし、まどろむことなく見守ってくださるように。（詩編１２１より）

または

目を上げて、わたしはあなたを仰ぎます。天にいます方よ。

御覧ください、僕が主人の手に目を注ぎ、はしためが女主人の手に目を注ぐように、

わたしたちは、神に、わたしたちの主に目を注ぎ、憐れみを待ちます。

わたしたちを憐れんでください。

主よ、わたしたちを憐れんでください。（詩編１２３より）

**特別の祈り**

生きている者も死んだ者も、すべての者の主であって、すべてをみ手のうちに治められる神様。

私たちの涙をぬぐい去り、私たちが目をあげて、復活の主を仰ぐことができるようにしてください。地上の体が滅びても、新しい天と地が成就される時、主のみ力によって私たちを栄光のからだにかたどってください。今私たちは、主イエス・キリストによって、復活と永遠の命に至る確かな望みを抱き、逝きし者の亡き骸を、火にゆだね、土を土に、灰を灰に、塵を塵に返します。すべてのものの終わりを清め、美しくしてくださる恵みのみ業を讃えつつ、救い主、み子、主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

**祝福**

全能の神の慰めと祝福があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

アーメン

または

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたとともにあるように。

アーメン

または

永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、み心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてくださり、み心を行なうために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。栄光が世々限りなくキリストにありますように。

アーメン

**火葬後の祈り**

**（収骨に際して）**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**賛美歌**　＊はじめに賛美歌を歌ってもよい

**祈り**　＊骨壺（木箱）の蓋を閉じて祈る。

憐れみ深い神様。御子、救い主イエス・キリストの十字架の死によって、あなたは死の力を打ち砕き、聖なる民のために安らぎの場をお与えくださいました。すべての聖徒たちと共に、神の家族（兄弟／姉妹／幼子）　　　　　　をあなたの御許に憩わせてください。そして終わりの日に、キリストの復活の栄光によってもたらされる永遠の喜びと平安の内に、神の家族（兄弟／姉妹／幼子）　　　　　　を復活させてください。私たちもまた、やがてあなたの栄光に与り、喜びに満たされるように、励まし、助けてください。私たちの希望、命の源であるあなたにすべてを委ねます。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

アーメン

**祝福**

全能の神の祝福と慰め、平安があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

アーメン

**火葬後の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

＊収骨後、参列者が教会や葬儀が行われた会場または自宅に戻った際に、この祈りを用いることができる。

**１．賛美歌**　＊賛美歌を歌ってもよい

**２．キリエ**

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

**３．聖書**＊次の聖書箇所、あるいは他の適切な個所を朗読する。

詩編４２・４６・８４・１１６・１３９

ローマ５章１～５節（～１１節）・ローマ８章３１～３９節・黙示録１４章１３節・ヨハネ１１章２５，２６節など

＊聖書の朗読の後に、みことばからの慰めの奨めがなされてもよい。

**４．祈り**

司式：すべてのものの創り主、全能の神様。はかり知れないあなたの御旨によって御許に召された　　　　　を御手に委ねました。この時までのお支えとお導きを感謝いたします。悲しむ者の目から涙を拭い去り、あなたの平安と慰めを与えてください。あなたの御国において再び逢う時まで、私たちがあなたの恵みと希望のうちに誠実に歩むことができるように強めてください。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**５．主の祈り**

**６．祝福**

司式：全能の神の祝福と慰め、平安があなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**召天者記念の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**　＊初めに賛美歌を歌ってもよい

**２．御名による祝福**

司式：父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**３．詩編**　＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

主はわたしの羊飼い、

わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを緑の野に休ませ、

憩いの水のほとりに伴い、わたしの魂を生き返らせてくださる。

主はみ名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても、

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ、

わたしの杯を溢れさせてくださる。

命ある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り、いつまでも、そこにとどまる。(詩編２３編より)

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**４．キリエ**　＊ここでキリエを唱えてもよい

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

司式：キリストよ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：主よ、憐れんでください。

**５．特別の祈り**

司式：憐れみ深い神様。私たちは今、（　　　　）年前／日前に御許に召された　　　　　　を偲び、あなたを賛美するため集まっています。あなたは　　　　　　に大きな愛を注ぎ、その（　　　）年の生涯を豊かな祝福のうちに導いてくださいました。そして、愛する　　　　　　に永遠の平安を与えてくださいました。

　　　　（彼／彼女）に賜った導きと永遠のいのちのゆえに、心から感謝いたします。ここに集う者に慰めと平安を与え、豊かな祝福を注いでください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

または教会共同体で行われる召天者記念礼拝などで用いる際には以下の祈りを用いることもできる

司式：憐れみ深い神様、私たちは今、過ぎし日にみもとに召された神の家族（兄弟姉妹）を偲び、あなたを賛美するために集まっています。あなたは神の家族（兄弟姉妹）に大きな愛を注ぎ、生涯を豊かな祝福のうちに導いてくださいました。そして、愛する神の家族（兄弟姉妹）に永遠の平安を与えてくださいました。あなたが神の家族（兄弟姉妹）に賜った導きと、永遠のいのちのゆえに、心から感謝いたします。ここに集う者に、慰めと平安を与え、豊かな祝福を注いでください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**６．聖書朗読**

**７．説教**

**８．賛美歌**

**９．祈り**

司式：いのちの源である神は、み子イエス・キリストによって、私たちを神の子とし、主を信じる者はたとえ死んでも生きると教えられました。私たちは今、この世の旅路を終えた者が、み手のうちに憩いを与えられていることを信じ、神の恵みを祈り求めましょう。

会衆：私たちは、今住んでいる地上の幕屋が壊れても、神が備えてくださる家があることを知っています。

司式：地上における年が満ちて、天にある民の数に加えられた者が、み子イエス・キリストの赦しと憐れみのうちに、永遠に主の宮に住むことを、私たちは信じます。

会衆：それは、人の手によらない永遠の家です。

司式：主はご自身、私たちを迎えると約束し、「わたしのいる所にあなたがたもいることになる」と言われました。

会衆：私たちは、今住んでいる地上の幕屋が壊れても、神が備えてくたさる家があることを知っています。

司式：私たちが嘆きのうちにあるときにも、あなたはいのちと望みとを与えてくださいます。

会衆：主の前には、溢れる喜びがあり、主のもとには永遠の楽しみがあります。

司式：いのちの源である神様。あなたは私たちとすべての者にいのちを与え、御手のうちに守り、支えてくださいます。あなたは、御子、主イエス・キリストの十字架の死によって死を滅ぼし、私たちの罪を赦し、復活によって永遠のいのちを与えてくださいました。このはかり知れない恵みを感謝いたします。きょうまで（この（　）年間）、愛する神の家族（兄弟／姉妹）を御許に送った方々に、多くの慰めを与え、豊かに祝福してくださいました。

（以下のABいずれかで結ぶ）

→A　聖霊によって私たちを照らし、永遠の御国への希望を与えてください。あなたに召されるその日まで、信仰の歩みを続けることができるように、私たちの日々を守り支えてください。復活といのちの主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

または

→B　聖霊によって私たちを照らし、永遠の御国への希望を与えてください。あなたに召されるその日まで、恵みと平安のうちに歩ませてください。復活といのちの主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

会衆：アーメン

**１０．主の祈り**

**１１．賛美歌**

**１２．祝福**

司式：復活の主イエス・キリストの恵み、命の源である神の愛、慰め主、聖霊の交わりがあなたがた一同と共にあるように。

会衆：アーメン

**納骨の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**

**２．御名による祝福**

司式：父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

**３．詩編**　＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。

すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巣を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。

あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。

彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。

また前の雨は池をもってそこを覆います。

彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、われらの盾をご覧になり、

あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。

わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。

主なる神は日です、盾です。

神は恵みと誉れを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

万軍の主よ。

あなたに信頼する人は、幸いです。

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**４．特別の祈り**

司式：全能の神様。私たちは御許に召された愛する神の家族（兄弟／姉妹／幼子）　　　　　の遺骨を今ここに納め、土を土に灰を灰に、塵を塵に返します。御子の死と復活によって、与えられた永遠のいのちを待ち望みます。御子イエス・キリストによって。

会衆：アーメン

**５．聖書**＊次の聖書箇所、あるいは他の適切な個所を朗読する。

ヨハネ黙示録１４章１３節・ヨハネ福音書１１章２５節・ローマ８章１１節・ヨハネ福音書６章３７節・詩編１６編９，１１節

**６．説教**

**７．賛美歌**

**８．納骨**　＊ここで納骨する。ただし地域の慣習で異なる場合もある。

**９．納骨の祈り**

司式：いのちの源である全能の神様。あなたは御子イエス・キリストの死によって死を滅ぼし、栄光の復活によって永遠のいのちを明らかにされました。私たちは、主がこの世を去る者に平安と希望を与え、死と墓に対して勝利をおさめられたことを信じます。私たちは愛する神の家族（兄弟／姉妹／幼子）　　　　　　　とともに過ごした喜びの日々を思い起こし、あなたが神の家族（兄弟／姉妹／幼子）に賜った恵みを覚えて感謝いたします。御許に召された者が、み国の栄光に与かることができるようにしてください。また、この世にあってあなたを待ち望む私たちを、すべての者と共に、永遠の交わりのうちに保ってください。いのちと復活の主イエス・キリストによってお祈りいたします。

会衆：アーメン

**１０．主の祈り**

**１１．賛美歌**

**１２．祝福**

司式：全能の神の祝福と慰めが、あなたがたと共にあるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**墓所開設の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**　はじめに賛美歌を歌ってもよい

**２．御名による祝福**

司式：父と子と聖霊のみ名によって

会衆：アーメン

**３．詩編**　＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

わたしの魂よ、主をたたえよ。

わたしの内にあるものはこぞって、聖なるみ名をたたえよ。

わたしの魂よ、主をたたえよ。

主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

主はおまえの罪をことごとく赦し、病をすべて癒し

命を墓から贖い出してくださる。

主は慈しみと憐れみの冠を授け、長らえる限り良いものに満ち足らせ、

鷲のような若さを新たにしてくださる。

主はすべて虐げられている人のために、恵みのみ業と裁きを行われる。

主はご自分の道をモーセに、み業をイスラエルの子らに示された。

主は憐れみ深く、恵みに富み、忍耐強く、慈しみは大きい。

永久に責めることなく、とこしえに怒り続けられることはない。

主はわたしたちを罪に応じてあしらわれることなく、

わたしたちの悪に従って報いられることもない。

天が地を超えて高いように、慈しみは主を畏れる人を超えて大きい。

東が西から遠い程、わたしたちの背きの罪から遠ざけてくださる。

父がその子を憐れむように、

主は主を畏れる人を憐れんでくださる。

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

または

わたしは主をたたえます。主はわたしの思いを励まし、

わたしの心を夜ごと諭してくださいます。

わたしは絶えず主のみ前にいます。

主は右にいまし、わたしは揺らぐことがありません。

わたしの心は喜び、魂は躍ります。

からだは安心して憩います。

あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく、あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず、

命の道を教えてくださいます。

わたしはみ顔を仰いで満ち足り、喜び祝い、

右のみ手から永遠の喜びをいただきます。

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

または　８４（納骨式の詩編）

**４．キリエ**

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

**５．聖書**

イスラエルは死ぬ日が近づいたとき、息子ヨセフを呼び寄せて言った。「もし、お前がわたしの願いを聞いてくれるなら、お前の手をわたしの腿の間に入れ、わたしのために慈しみとまことをもって実行すると、誓ってほしい。どうか、わたしをこのエジプトには葬らないでくれ。わたしが先祖たちと共に眠りについたなら、わたしをエジプトから運び出して、先祖たちの墓に葬ってほしい。（創世記４７章２９，３０節）

わたしは天からこう告げる声を聞いた。「書き記せ。『今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである』と。」“霊”も言う。「然り。彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。」（ヨハネの黙示録１４章１３節）

**６．祈り**

司式：全能の神様。今、私たちは愛する者（たち）の遺骨を納める墓所をここに定めるために集まっています。この墓所を召されたものを偲び、あなたの恵みを思い起こすところとしてください。この墓所のために携わるすべての人たちに恵みと祝福を与えてください。十字架の死から復活し、父と聖霊と共に永遠に生きて治められる御子、私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**７．主の祈り**

**８．祝福**

司式：私たちの主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたがたと共にあるように。

会衆：アーメン

**墓を閉じる際の祈り**

2020･1･17版

共同式文検討委員会

**１．賛美歌**　はじめに賛美歌を歌ってもよい。

**２．み名による祝福**

司式：父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**３．詩編唱**＊司式者は次の詩編を唱える。または交読することもできる。

万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう。

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び祝います。

すずめがすみかを得、つばめがその雛を入れる巣を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇の傍にわが住まいを得させてください。

あなたの家に住み、つねにあなたをほめたたえる人は幸いです。

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人は幸いです。

彼らは嘆きの谷を通っても、そこを泉のあるところとします。

また前の雨は池をもってそこを覆います。

彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

万軍の神、主よ、わが祈りをお聞きください。

ヤコブの神よ、耳を傾けてください。

神よ、われらの盾をご覧になり、

あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。

わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろわが神の家の門守となることを願います。

主なる神は日です、盾です。

神は恵みと誉れを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

万軍の主よ。

あなたに信頼する人は、幸いです。

（父と子と聖霊の神に栄光があるように。

はじめも、今も、永遠に限りなく。アーメン）

**４．キリエ**

司式：主よ、憐れんでください。

会衆：キリストよ、憐れんでください。

司式：主よ、憐れんでください。

**５．特別の祈り**

司式：いのちの神様、御許に召された者を記念するために　　　　家（　　　）の墓所（墓・納骨堂）を整え、用いてくださったことを感謝いたします。私たちは、この墓所を閉じるためにここに集いました。主と共に復活することを信じ、私たちが行うことを祝福し、導いてください。御子、主イエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

**６．聖書**　以下のいずれかを選んで朗読する。

　創世記５０章２４～２６節＋出エジプト１３章１９～２２節＋ヨシュア２４章３２節

　マタイ２８章１～８節、マルコ１６章１～８節、ルカ２４章１～８節

　１コリント１５章５０～５８節、ヨハネ黙示録１４章１３節

**７．説教**　ここで説教がなされてもよい

**８．祈り**

司式：主なる神さま。地上の生涯を終えて、この世を去った者の亡骸はみな、御言葉の通り、塵となり、土に帰りますが、その命は、すべて、御手のうちに治められます。私たちは、過ぎた日に、　　　　　（　　　家の人々）の遺骨（亡骸）をここに葬りましたが、今、この場所（墓・納骨堂）はその役割を終えます。（今までこの場所を用いてくださったことを感謝し）、これからも、この場所を豊かに祝福し、御名の栄光を現してください。

天に召された　　　　家の一人ひとり（または　　　　　　）をあなたの憐れみに委ねます。私たちもまた、地上の生涯を終えるその日まで、あなたに信頼して歩み続けることができるように、導いてください。

この墓所のために働く人たちを守り支えてください。いのちの主であるイエス・キリストによって祈ります。

会衆：アーメン

＊ここで召天者記念の祈りの連祷がなされてもよい。

**９．主の祈り**

**１０．祝福**

司式：全能の神の祝福があるように。父と子と聖霊のみ名によって。

会衆：アーメン

**１１．賛美歌**　＊賛美歌を歌ってもよい。